

令和6年度 新潟県介護労働懇談会の開催 新潟支部

開催日時： 6月 11日(火) 13:15 ~ 14:45

テーマ・議題

- ①令和4年度介護労働実態調査結果(新潟県版)について
- ②新潟県の介護人材確保対策事業の取組について
- ③新潟市の介護人材確保戦略の取組について
- ④その他情報交換・意見交換

主な参加機関

新潟労働局、新潟公共職業安定所、新潟県福祉保健部、新潟市福祉部高齢者支援課、新潟県社会福祉協議会、新潟県介護老人保健施設協会、他



主な内容等(各機関から人材確保対策、イメージアップの取組について情報提供、意見交換を行う)

関係14機関、22名の出席者により懇談会を開催いたしました。

- (1) 令和4年度介護労働実態調査結果(新潟県版)について
- (2) 新潟県の介護人材確保対策事業の取組みについて説明
 - ・令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画の説明。
- (3) 新潟市の介護人材確保戦略の取組みについて説明
 - ・介護人材確保戦略の概要、第2期新潟市介護人材確保戦略の策定の説明。
- (4) 意見交換・情報交換
 - ・新潟労働局より、「最近の雇用失業情勢(令和6年4月)」により説明
 - ・新潟県老人保健施設協会から、傘下事業所の抱える問題点とICT導入についての課題を説明。
 - ・新潟県看護協会より介護施設、訪問看護へ行きたいという看護師を希望する人材は少なく、コミュニケーション、人間関係に悩み離職者が多い旨説明
 - ・日本認知症グループホーム協会よりグループホーム全体でみると、生産性向上と言われても、小さな施設のためそこだけで生産性をあげるというのは難しい旨説明あり。
 - ・日本介護福祉士養成施設協会より養成校の充足率は51%で県内では募集停止を行った校もあり定員確保が重要な旨説明。
 - ・新潟県介護福祉士会から介護の魅力発信の取組をしているが年齢が上がるほど、金銭的な話しせしないと納得してもらえない。介護と看護どちらに進むか、となると、賃金を考えると介護より看護へという意見が圧倒的に多い旨説明あり。
 - ・新潟県社会福祉協議会から、魅力を発信する事業は、そういう取り組みがあることを認知してもらうことが必要と考えており、広く周知していくと説明。

参加団体からのお知らせ・状況報告等

新潟公共職業安定所より「介護就職デイ」について、新潟県介護福祉士会からは「訪問出前授業事業」と「親子で介護体験の事業」について、日本介護福祉士養成施設協会からは入学者に占める留学生の割合は29.1%となり留学生がメインになりつつある学校もあるとの状況について報告あり。高齢・障害・求職者雇用支援機構新潟支部よりサブスク「eラーニング」についてのお知らせ。

事務局（介護労働安定センター 新潟支部）からコメント

懇談会の内容に関する問い合わせは TEL 025-247-1963 にご連絡下さい。